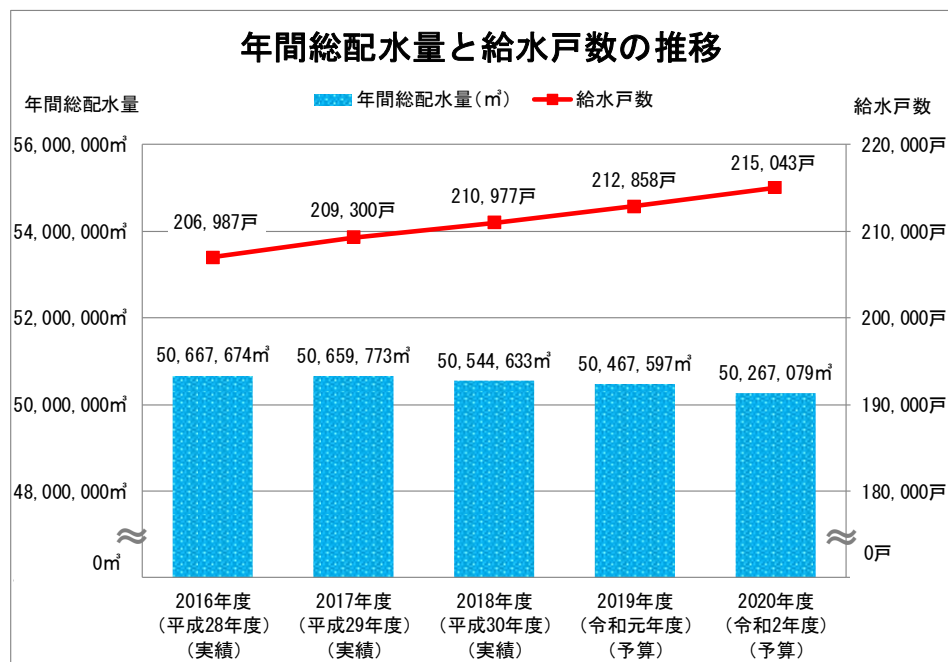


水道事業

1 業務予定量

水道事業の業務予定量は次のとおりです。

項目	2020年度 (令和2年度)	2019年度 (令和元年度)	前年度に対する増減
給水戸数	215,043戸	212,858戸	2,185戸
年間総配水量	50,267,079m ³ /年	50,467,597m ³ /年	△200,518m ³ /年
一日平均配水量	137,718m ³ /日	137,890m ³ /日	△172m ³ /日
主要な建設改良事業	47億1,000万円	41億2,400万円	5億8,600万円



2 建設改良事業の概要

安全で良質な水道水の安定した供給体制の確立や災害に強い水道施設整備のため、2020年度（令和2年度）に実施する主な建設改良事業は次のとおりです。

○第六期拡張事業【2億1,600万円】

- ・明王台配水池から熊野浄水場までの配水管布設工事

2017年度（平成29年度）から2020年度（令和2年度） 「4か年計画」

○配水管整備事業【26億500万円】

「第八次配水管整備事業計画」

2017年度（平成29年度）から2021年度（令和3年度） 「5か年計画」

- ・配水管布設替

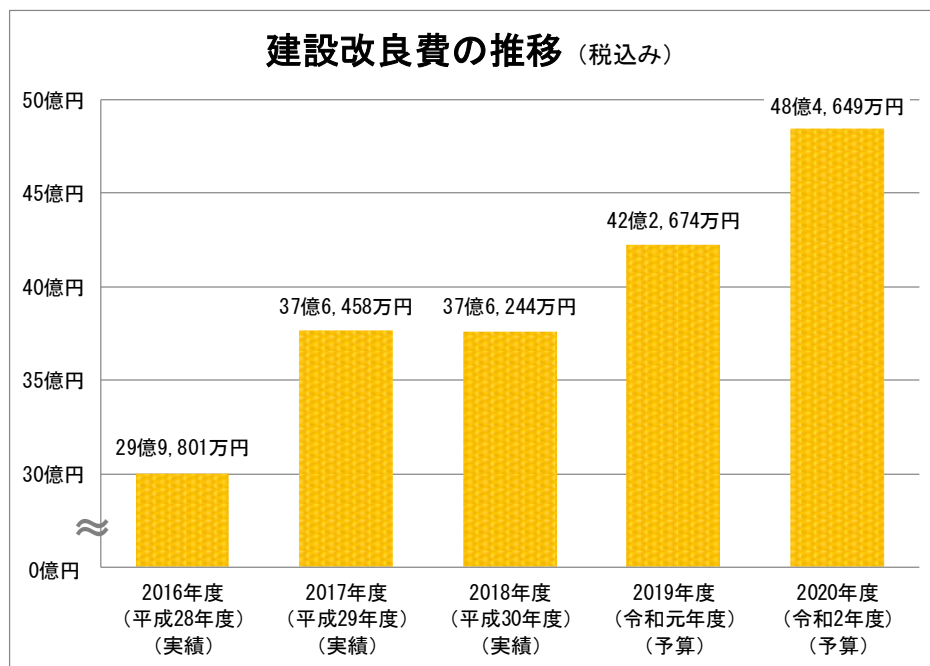
基幹管路整備工事 延長 = 3,192m

重要管路整備工事 延長 = 5,760m

一般管路整備工事 延長 = 16,985m

○配水管及び施設改良事業【18億8,900万円】

- ・中津原浄水場洪水対策工事
- ・伊勢丘配水池耐震補強工事
- ・（仮称）伊勢丘ポンプ所電気及び機械設備設置工事ほか



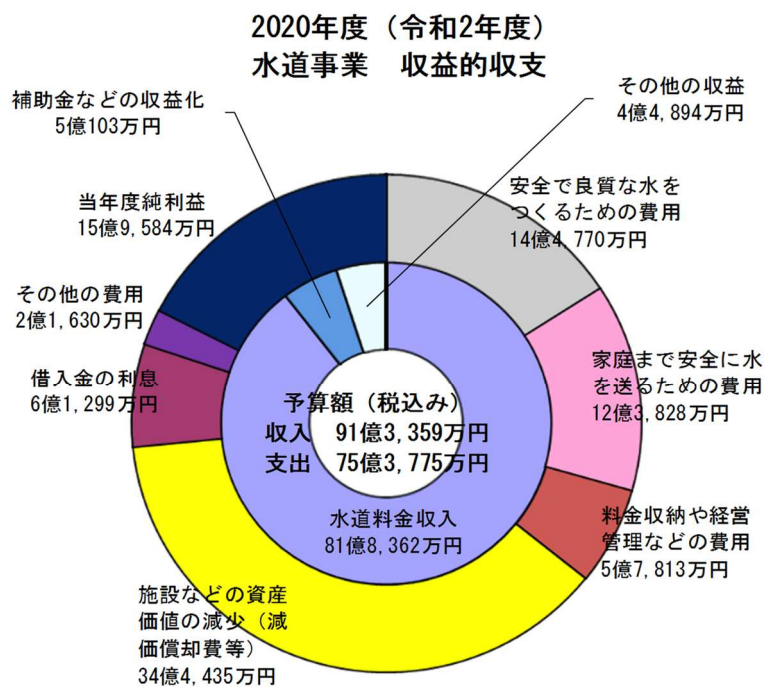
3 財政状況等

(1) 収益的収支（水道料金の収納や水道水の供給などに伴い発生する収入と支出）

収益的収入は、前年度に比べて4,072万円(0.4%)増加し、91億3,359万円です。一方、収益的支出は、前年度に比べて5,810万円(0.8%)減少し、75億3,775万円です。

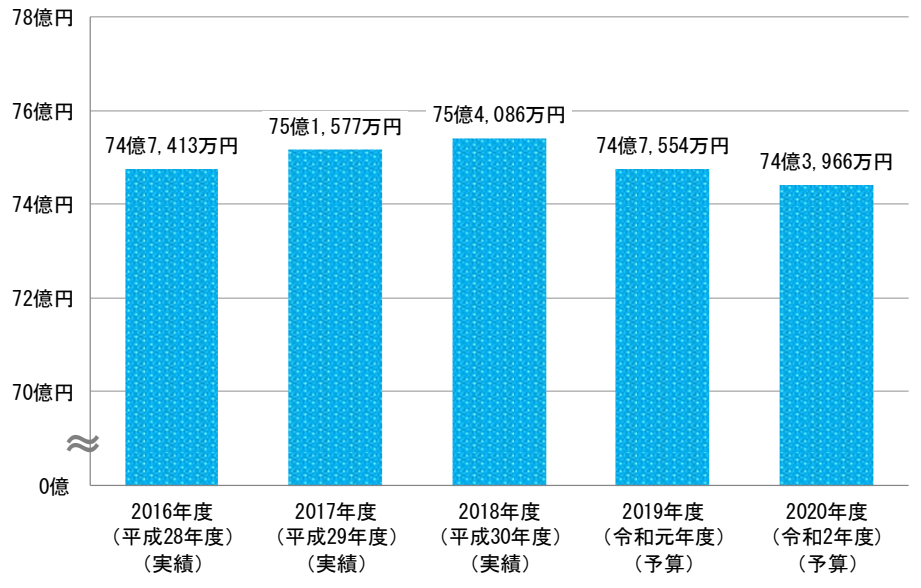
この結果、収益的収入と収益的支出の差し引きは、15億9,584万円の純利益となる見込みです。

項目	2020年度 (令和2年度)	2019年度 (令和元年度)	前年度に対する増減
収益的収入 (うち、水道料金収入)	91億3,359万円 (81億8,362万円)	90億9,287万円 (81億1,235万円)	4,072万円 (7,127万円)
収益的支出	75億3,775万円	75億9,585万円	△5,810万円
差引	15億9,584万円	14億9,702万円	9,882万円



※円グラフの内側が収益的収入、外側が収益的支出です。

水道料金収入の推移 (税抜き)



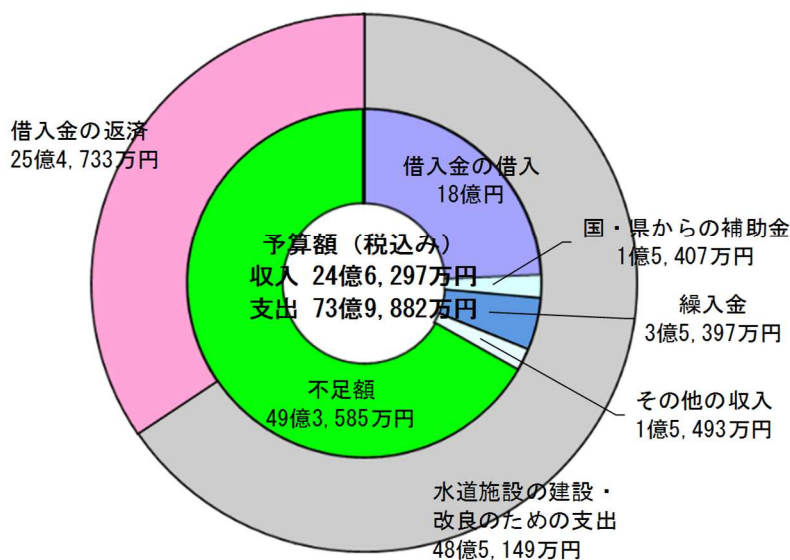
(2) 資本的収支（水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出）

資本的収入は、前年度に比べて5,963万円（2.5%）増加し、24億6,297万円です。一方、資本的支出は、前年度に比べて6億8,199万円（10.2%）増加し、73億9,882万円です。

この結果、資本的収入が資本的支出に不足する額は、49億3,585万円となる見込みです。
 なお、不足額は、減価償却費など企業の内部に留保される資金等で補てんします。

項目	2020年度 (令和2年度)	2019年度 (令和元年度)	前年度に対する増減
資本的収入	24億6,297万円	24億334万円	5,963万円
資本的支出	73億9,882万円	67億1,683万円	6億8,199万円
差引	△49億3,585万円	△43億1,349万円	△6億2,236万円

2020年度（令和2年度）
水道事業 資本的収支



※不足額は、減価償却費など企業の内部に留保される資金等で補てんします。

(3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べ7億4,733万円（2.1%）減少し、357億449万円となる見込みです。

